

## 特徴ある音楽をつくろう①

### [魅力的なメロディーの秘密……1]

メロディーをつくる際、自然に思い浮かばないことも多いだろう。そのようなときに、和音進行を頼りにする方法がある。また、単純な和声音に様々な変化(リズムを工夫する、非和声音を加える、など)をさせてメロディーをつくる方法もある。

ここでは、名曲のメロディーの輪郭に学んでみたい。よく知られたメロディーの輪郭をとらえ、特徴を知り、そこから新しいメロディーをつくって

みる。譜例1~3では、コードネームも書き入れておいた。こういったメロディーの輪郭とともに、和音も理解するとよい。

メロディーの特徴をとらえるためには、この他に、教科書p.81(音楽を読む)にあるように、五音音階など、様々な音階や旋法も知ったり、リズムの特徴を知るなど、様々な角度から調べてみるとよい。

教科書p.82の最後は、歌の作曲への応用である。次項により詳しく示しておいた。

譜例1 「威風堂々」による例

「威風堂々」のメロディーに装飾を加えてメロディーを作った例

C G7/D Am/E C/E F C/G D7/A G